

### 第3回「阪南2区人工干潟から始めるSDGs活動」野鳥観察会の概要

- 日時 令和5年3月5日(日) 10:30~15:00
- 場所 阪南2区人工干潟(岸和田市)、近木川河口(貝塚市)
- 主催 CIFER・コア、共和海建グループ、きしわだ自然資料館
- 参加者数 65名(CIFER・コア25名(うち高校生・中学生7名)、共和海建グループ21名、きしわだ自然資料館25名(うち小学生6名))
- 行程
- 10:30 地藏浜 みなとマルシェ集合
- 10:45 出航
- 野鳥観察班(以下A班)は「ケイエース」に乗船
- 干潟見学班(以下B班)は「さくら」と「はるか」に分乗
- 11:00 【B班】阪南2区棧橋に着岸
- 11:30 【A班】阪南2区周囲ひと回り後、同棧橋に着岸
- 11:05 【B班】
- ・横山隆司(CIFER・コア 干潟造成経緯と緑地計画の説明)
  - ・児嶋 格氏(きしわだ自然資料館 干潟生物の説明)
  - ・大古場 正氏(大阪市立自然史博物館 干潟生物の説明)
- 共和海建グループは干潟周辺の清掃活動。その他参加者は干潟で自由行動
- 【A班】
- ・風間 美穂氏(きしわだ自然資料館)
  - ・中村 進氏(日本鳥学会会員)
- の指導により、野鳥を観察。
- 12:00 帰港
- 12:10 地藏浜みなとマルシェ等で昼食・歓談
- 13:30 【B班】解散
- 13:40 【A班】貝塚自然遊学館に移動
- ・鈴子 佐幸氏(きしわだ自然友の会評議員)
- による『自然生態園』の案内
- 近木川河口で野鳥を観察
- 15:10 【A班】解散



#### ○行程

当日は風もなく春を思わせるような陽気の中、第3回目となる「阪南2区人工干潟から始めるSDGs活動」が開催されました。今回はメインの野鳥観察会と、干潟見学会の2つのグループに分かれて活動を行いました。干潟見学会には大阪府港湾協会様の参加もあり、総員46名となりました。一方、きしわだ自然資料館が募集した野鳥観察会には25名の参加がありましたが、定員に対し約2倍の応募があったそうです。

干潟の野鳥観察会では、きしわだ自然資料館の用意した望遠鏡と双眼鏡を使い、周辺に飛来する野鳥の観察を行ったほか、岸辺に残る足跡・羽・骨などの野鳥の痕跡について調査しました。干潟見学会では、講師の児嶋氏から、自ら採取した貝類について生息状況などの説明がありました。また、大古場氏からは

「この干潟は大阪湾の他の地域には見られない豊富な動植物が見られ、人工干潟整備の成功事例である」とのお話がありました。

帰り道のボードウォークからは、護岸近くにボラの群れが泳ぐ姿や成長したワカメが見られました。帰港後の昼食では、ここで採取されたワカメやワタリガニの入った味噌汁も振る舞われました。

野鳥観察会は、午後から貝塚自然遊学館直近の近木川河口に移動しました。河口には人が立ち入ることができないため、ガンカモ類、シギ・チドリ類、サギ類などの水辺の鳥を中心に多くの野鳥が集まっており、大阪では希少なカワセミも見られるなど、計37種類の野鳥を観察することができました。



▲野鳥観察会の様子



▲干潟に残る野鳥の痕跡などを探す



▲CIFER・コア横山理事から干潟造成の経緯などを説明



▲共和海建グループによる清掃活動



▲干潟の散策 きしわだ自然資料館の児島氏から貝類の説明などをしていただいた



▲石積み護岸には海藻等が多く付いていた



▲昼食（BBQ）の様子



▲護岸で採れたワカメ入りの味噌汁



▲午後からは近木川の野鳥を観察



▲アオサギ



▲近木川河口の風景